

マクちゃん通信

2018 4 - 5 vol. **49**

絵本作家インタビュー 北見葉胡
特集 大島絵本館の魅力



寄贈絵本のご紹介

ご寄贈いただいた最新絵本の中からスタッフのおすすめの絵本をご紹介します。



『あたし ときどき おひめさま』
いづちひろ／文
あみなかいつる／絵
BL出版



『ライブえほん いぶくろちゃん』
平田昌広／作 平田 景／絵
学研



『チューリップ』
荒井真紀／作
小学館



『トンダばあさん』
北村裕花／作・絵
小さい書房



『おいしいふくやさん』
あま〜いダンスパーティー／
のしさや／作・絵
ひさかたチャイルド



『メロンパン』
まさきよ／作
清風堂書店



『びっくりたね たんじょうびのプレゼント』
安孫子ミチ／作 渡辺あきお／絵
銀の鈴社

こうさぎたちは誕生日のプレゼントに、大きなにんじんになるといびっくりやのびっくりたねをもらいました。「にんじん にんじん なぐなれ」「にんじん にんじん ふとくなれ」大きくなりすぎたにんじんは、引っ張ってもびくともしません。びっくりやのたぬきのおじさんが魔法をかけると…。透明感のあるやさしい絵が、ほのぼのとしたお話をいっそう魅力的にしています。

絵本館日記



1月5日(金)

カフェギャラリーでは、恒例の年賀状展が始まりました。今年の干支である「戌」の凛々しい姿や愛らしい表情など、絵本館にゆかりのある作家たちの様々な表現が楽しめます。便利な世の中になつていろいろと簡略化されつつある昨今ですが、こうして年賀状を見る楽しみは一年に一度。新年の挨拶に、残しておきたい文化だと感じました。

1月12日(金)

ここ数年で稀にみる大雪となり、絵本館も一面真っ白になりました。朝から職員全員で雪かきをし、土木会社の方も除雪車でかけつけてくださいました。困った時こそ助け合い、譲り合う優しさや温かさを感じました。北陸らしい冬もなかなかいいものです。

1月30日(火)

冬期は毎年特別資料整理期間を設けています。今年は白壁のペンキ塗りをする事になりました。汚れを落とし傷を補修した後、ペンキを塗ると見違えるほど真っ白できれいになりました。また、社員研修では子どもたちが表現活動をするときの大人の言葉かけについて学んだり、職員ひとりひとりのパーソナルカラー診断をし、より自分を輝かせる色について知る機会がありました。職員みな新たな気持ちで、明るくこやかにお客様をお迎えできそうです。

2月9日(金)

来年度、絵本館からおすすめしたい絵本50冊をスタッフ皆で選びました。新刊や絵本作家の紹介も織り交ぜながら、文化や歴史をテーマにした絵本やファーストブックに手を取りやすい絵本を検討しました。ショップで贈り物を探す方や新しい一冊との出会いを求めて来られるお客様におすすめできる絵本を揃えたので、楽しみにしていただけたいと思います。

2月12日(月)

振替休日の月曜で、開館日でした。もう雪はこりこりというほど今年は何度も寒波がやってきて、溶けては積もりの繰り返し。窓の外に目をやるとあとという間に真っ白になっています。インフルエンザなど風邪も大流行しているので体調管理に気を付けて、元気に冬を乗り切りたいです。暖かな春が待ち遠しいこの頃です。

(記録・西淵)

利用案内

開館時間 9:30~17:30

休館日 毎週月曜日(祝日の場合翌日)
月1回資料整理日
年末年始(12月28日~1月4日)

入館料 大人510円、中高生310円、小学生100円
※団体20名以上は割引あり 団体幼児はひとり50円
※各種福祉手帳をお持ちの方は無料

交通案内

北陸自動車道小杉ICより車で10分
富山きときと空港より車で40分
あいの風とやま鉄道小杉駅より車で5分
※新幹線はJR富山駅またはJR新高岡駅で下車
富山地下鉄バス・富山高岡線「赤井口」下車徒歩7分

駐車場 約60台

フリーパス

個人フリーパス 年間1000円
射水市在住で、小学生未満のお子様の保護者の方は無料
親子フリーパス 射水市在住の小中学生は土・日・祝日に限り無料
いみず子どもフリーデー

貸館

カフェギャラリー、シアターは貸しスペースです。個展、コンサート、発表会などにご利用ください。

講座

絵本作りや読み聞かせ、講演などの出前講座を行っています。



射水市大島絵本館
OSHIMA MUSEUM OF PICTURE BOOKS

マクちゃんは絵本館のシンボルマークです

〒939-0283 富山県射水市鳥取50
TEL 0766-52-6780 http://www.ehonkan.or.jp
FAX 0766-52-6777 E-mail ehonkan@po9.canet.ne.jp

北見葉胡

主人公だけでなく
お話とは関係ない脇役も
丁寧に描いていきたい



北見葉胡 (きたみようこ) プロフィール

1957年、神奈川県鎌倉市生まれ。武蔵野美術短期大学卒業。
絵本に『小学生になる日』(新日本出版社)『ちいさな ちいさな おひめさま』(二宮由紀子/作 BL出版)『ねっこばあのおくりもの』(藤真知子/作 ポプラ社)『おやゆびひめ』(蜂飼耳/訳 偕成社)など多数。又『はりねずみのルーチカ』シリーズ(かんのゆうこ/作 講談社)は全見開きに挿絵の入る童話や絵本として毎年刊行されている。2005年に『タマリンとボチロー』(講談社)で、2015年に『マッチ箱のカーニャ』(白泉社)で、ボローニャ国際絵本原画展入選。2009年『ルウとリンデン旅とおるすばん』(小手鞠るい/作 講談社)でボローニャ国際児童図書賞受賞。

絵本原画展開催
平成30年4月1日(日)～5月30日(水)

原画展示絵本



『マッチ箱のカーニャ』(白泉社)
カーニャはマッチ箱くらいの小さな女の子。ある時、マッチ箱の中であてたいなと思いつき、そこから冒険がはじまりました。最後に登場した女の子が、意外な形でカーニャの冒険を終わらせます。



『シンデレラ』
(那須田淳/訳 岩崎書店)
継母と二人のお姉さんにいじめられつらい日々を過ごすシンデレラ。お城の舞踏会に行くにも、着ていくドレスがありません。そこで、亡くなったお母さまのお墓の傍のはしみの木にお願いすると...

春のギャラリーでは、可愛い小物が散りばめられた宝石箱のような『マッチ箱のカーニャ』と黄金のドレスとくつが美しいグリムの『シンデレラ』の2冊をご紹介します。

北見葉胡先生にインタビュー



絵本作家になられたきっかけは?

大学で、描いた絵を刷って裁断し豆本を作るという授業があり、印刷物に興味を持ちました。その後海外の絵本と出会い、絵の美しさに魅了され、画家として絵を描いていましたが、絵の中に物語を作りながら進めている事に気づき、絵本も創作してみたいと思うようになりました。

画材は何を使っていますか?

普段は主に紙に油絵の具で描いています。今回の原画展の絵も油彩ですが、今年1月に出版した『はりねずみのルーチカ』りんごとれるかな』では、版画のような雲囲気の絵本にしてみたくて、初めて色鉛筆、アクリル、パソコンを使って作りました。

今回、原画を展示する絵本の制作秘話や思い出を教えてください。

『マッチ箱のカーニャ』
小さな主人公カーニャが子ども部屋で大冒険するお話です。だんだん視点を引いて描いていくので、その整合性が方向音痴も相まって大変でした。しかし、右に机があつて反対から見ると左で、そしたら川はここに

繋がっていくのかな?と、自分が探検しているようなワクワクする作業でもありました。

『シンデレラ』

グリムの『シンデレラ』では、亡くなった母親の化身として白鳩が描かれています。文章にならない場面にも白鳩を入れることで、子を守る母親の切なく深い愛情を表現したいと思いました。また、衣装や背景やお城の外観、室内装飾などは、資料を元にドイツを意識しながら描きました。

今まで手がけられた絵本の中で、一番印象深い絵本は?

『デビュー作』さばてん』です。絵本の作り方を何も知らなかったにもかかわらず、最後まで温かく見守って下った編集者さんのおかげで、絵もデザインも文章も臆することなくのびのび制作できた気がします。

絵本をお作りになるときのこだわりは?

主人公だけでなく、周りにいるお話とは関係ない生き物や家具、そういった脇役も丁寧に描いていきたいと思っています。

絵本を通じてお伝えになりたいことは?

私はただ自分の中にある様々な想いを絵本にしているだけなのですが、もし何か感じて下さる方がいらしたら、とても嬉しいです。

今後どのような絵本を描いていかれますか?

今、人と人が優しく助け合うことで、笑顔が広がったらいなという願いを込めた絵本を描いています。作絵の絵本はつい後回しになつてしまいますが、その分イメージをたくさん広げられるので楽しいです。

ご趣味についてお聞かせください。

自己流のへたなピアノを弾いたり、散歩しながら小さな子を眺めたり(可愛いんです)、猫や雀や鯉に話かけたり、小さなお人形を集めたり...趣味とはいえない遊びを楽しんでいます。

お好きな言葉を教えてください。

「感謝」です。日々感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。

ファンの皆さんへメッセージをお願いします。

私の絵本を手にとって下さる方がいることは、本当に幸せなことだと感謝しています。ありがとうございます。これからも1冊1冊心を込めて描いていきたいと思っています。

北見葉胡先生、ありがとうございました!

北見葉胡先生サイン入りの絵本を3名様にプレゼント

応募方法 氏名、年令、住所、電話番号をご明記のうえ、ハガキでご応募ください。
あて先 〒939-0283 射水市鳥取50 射水市大島絵本館
北見葉胡 サイン本プレゼント係
締め切り 平成30年6月10日 消印有効

※発表は発送をもって代えさせていただきます。



『シンデレラ』
(岩崎書店)

**おおしま国際
手づくり絵本
コンクール
募集要項**

平成30年5月8日(火)
～17日(木) 必着

2018
あなたの絵本、
待っています。

最優秀賞作品は当館に展示します
おおしま国際手づくり絵本
コンクール2018
最優秀賞受賞作品
「ママがたりない!!」
2016年7月出版

未発表の手づくり絵本
(過去1年以内に制作したものでテーマは自由)

作者が18歳以上であること(高校生は不可)

①一般の部 ②しかけの部
「しかけ」が盛り込まれた絵本を募集します。

※詳しくはお問い合わせください。



イベントレポート

年賀状展 1/5～28

年明けのカフェギャラリーは希望にあふれています。個性豊かな犬の絵やお正月らしい文字が躍る146枚の小さな作品。これらは当館ゆかりの著名人や作家の方々から届いた年賀状で、この展示のためだけに丁寧に手づくりされた作品もたくさんあります。新春ならではの晴れやかな気持ちにさせてくれるこの展示はファンも多く、今年も一枚一枚じっくりと鑑賞している方の姿が多く見られました。

ジャンボかるた大会 1/8

ひときわ明るい歓声がこだまするジャンボかるた大会。開館以来続くお正月の恒例行事です。「白鳥伝説 鳥取の里」、「大きな声で鯛分け神事」「高く飛べ飛べ大門の風」など射水市の自慢が次々と詠み上げられていくと、子どもたちはいっせいに1枚の札めがけて飛びつきます。中にはお気に入りの札を他の人に取られてしまい悔し泣きする子も。太鼓の音やお母さんたちの声援がいっぱいに響きわたり、お正月の活気にあふれる一日となりました。



射水市大島絵本館 白鳥倶楽部

会員募集のご案内

大島絵本館をまるごと楽しめる
年間会員になりませんか?

入館フリーパス、有料イベント入場ペア券、
カフェドリンク券など様々な特典付き。
詳しくはお問合せください。

◎会費 10,000円

**絵本館 創作教室2018
登録家族募集**

バラエティに富んだ素材を使って、親子
で楽しむ「ものづくり」。年10回の教室です。

- 募集期間 … 平成30年3月より
- 登録代 … 1家族800円
- 材料代 … 各回500～1,000円

※詳しくはお問い合わせください。



第8回「お栗子の家」
1/20・21

甘い匂いに満たされた室内で幸せな気分
に浸りながら、生クリームやチョコクリームを
接着剤にして、土台のパンにいろいろなお菓子
をデコレーション。夢いっぴいのとってもかわ
いい美味しそうなお栗子の家が完成しまし
た。もったいなくて食べられないかも!?

お菓子を食べながら作って嬉しかったです。
美味しかったです。(ゆうとさん 9歳)

屋根や壁をどんなふうに飾るか考えるの
が楽しかったです。(ののさん 10歳)

創作教室レポート

第7回「ニューイヤーズギフト」
2017.12/9・10

5つのキューブに数字や曜日
をカラフルに描き入れて、楽しい
万年カレンダーを作りました。
キューブを並べるのは家型の箱。
どのお家にも、折り紙でできい
に飾りつけた煙突をつけたら
と工夫をこらした、たつぷりと時
間をかけて作業を楽しんでおら
れました。

ずっと使えるのいいと思い
ました。日にちを変えるのが楽
しみます。(さきさん 9歳)

ハッピーな毎日が送れる
ようにカラフルにしました。
(ほのかさん 10歳)



ギャラリー

降矢なな 絵本原画展

とき/6月1日(金)～7月19日(木)

展示原画
「やもじつとほりきざ」(佼成出版社)
「いそづぶのおはな」(ナランまます社)

吉田薫 GLASS展

とき/6月30日(土)～7月13日(金)

後谷達門展

とき/6月16日(土)～6月28日(木)

6・7月イベント

シアター・パフォーマンスホール

忍者ショー

出演/忍者堂

とき/6月24日(日)14時～15時

料金
大人1,500円・3歳～高校生600円
お子様も楽しめる
ファミリー向けのショーです。

カフエギャラリー

**ignon 石須優子
リネン服展**

とき/6月1日(金)～6月15日(金)

**陶房匠の里
第16回「陶友会」陶芸作品展**

とき/6月16日(土)～6月28日(木)



山達 雅美
元高岡市教育委員長

**特集 /
大島絵本館の
鬼力**

絵の力・文の力

小学校一年生を担任していた時のこと。
国語で「おおきなかぶ」の学習の終わりに
ころ、挿し絵を見ながら一緒に読んでいく
うちに、その気になった子どもたちが「力
いっぱい引く時、おしりがつくようになる
から粘るように言うよ」と自然に工夫する
姿に感動。子どもはすごい!絵の力と文の
力は読む力を育てると実感しました。

縁あって「おおしま手づくり絵本コン
クール」の審査をお受けした時、そのこと
を思い出し、園児から高校生たちはどんな
絵本をつくるのだろうかとうわくわくしなが
ら大島絵本館へ。するとびっくり。千点を
超える手づくり絵本が、園児、小学生、中
高生別に所狭しと並んで、まるで綺麗な落
ち葉のようでした。まず園児の部の作品を
手に取って思わず笑みが…。4歳児が描く
泥んこの玉。遊びそのままの大胆さに感動
しました。

その時「ご苦労様。お願いしますよ」の声。
まあ!大島町長の吉田力さん!今もその
笑顔が忘れられません。吉田さんといえば、
まちづくりの夢、地域発展のため大人も子
どもも一緒に親しめる「大島絵本館」を設
立されたと聞いていたので、一層頑張
ろうと「はい」と答えました。

私は幸せなことに13年間も審査をさせ
てもらい、素敵な時間を味わいました。遊
びや家族から生まれる話、虫や草花の観察

から生まれる話、自分の夢や空想から発展
させていく話、どれも素敵です。審査しな
がら子どもたちの夢や想いなど、工夫を凝
らした絵と文の多様な表現に触れること
ができました。その上、学校内の掲示担当
だった時、雑誌「詩とメルヘン」の挿絵を真
似ていた憧れの永田萌先生が特別審査員
としていらつしやることになり、絵本館が
一層素敵に見えました。

また、コンクールに毎年応募する常連と
言われる子どもたちが増え、表彰式ともな
ると「同窓会みたい」と言いながら、お互い
の良さを認め合い、競い合う素晴らしい時
間になりました。その子どもたちも今はも
う立派な大人になり、仕事に就いても絵本
づくりを楽しんでいるようです。先日久し
ぶりにお便りが来て、イタリアのポロ
ニヤ国際絵本原画展に挑戦したいと書い
てありました。絵本館が子どもの夢を美し
く育てている証だと思いました。

また、絵本館には絵本に親しむコーナ
ーがあり、読み聞かせなども人気があります。
カフェ併設のギャラリーもあり、そこで個
展をさせていただいた際、東日本大震災へ
のささやかな支援として、120冊余りの
絵本を高岡市の姉妹都市であり大伴家持
終焉の地でもある宮城県多賀城市の図書
館へ寄付させていただいたのも、大島絵本
館のおかげと感謝しております。

私のおすすめ絵本



『ゴンぎつね』
新美南吉/作 かすや昌宏/絵
あすなろ書店
四年生と楽しく授業した作品。



『モチモチの木』
斎藤隆介/作 滝平二郎/絵
岩崎書店
三年生と楽しく授業した作品。



『スイミー』
レオ・レオニ/作 谷川俊太郎/訳
好望社
二年生と楽しく授業した作品。



『おおきなかぶ』
ロシア民話 A・トルストイ/再話
内田莉沙子/訳 佐藤忠良/絵
福音館書店
一年生と楽しく授業した作品。



『こんとあき』
林明子/作
福音館書店
お互い大事に思い合っている姿に
心癒される。



『しげちゃん』
室井滋/作 長谷川義史/絵
金の星社
名前を通じて親との絆を感じる
心温まる絵本。



『海のいのち』
立松和平/作 伊勢美子/絵
ポプラ社
六年生と楽しく授業した作品。



『大造じいさんとガン』(休版中)
横堀十/著 太田大八/挿絵
小峰書店
五年生と楽しく授業した作品。